

山田クリニック ぽすと

平成25年 4 月号

〒522-0054 彦根市西今町 923-1

Tel 0749-22-7005 Fax 21-3981

<http://www.hikone-yamadacl.com>

窓から

やっと、春を迎える季節となりましたね！当院も2月初旬より山田先生の療養及び吉田先生への変更に伴いまして、おみえ頂きました患者様には色々ご不安や御迷惑をおかけする事になり申し訳ございませんでした。待合室でも環境？の変化で私達スタッフもあたふたとしてしましまして失礼いたしました。

最近になり、やっと落ち着き始め患者様やご家族様とお話し出来る時間も作れるようになりました。新年度を迎えて、新しく生活もリフレッシュする良い機会だと思います。皆様もお身体を今一度見直して心地良い季節をお迎え下さい。

検査室より

糖尿病性壊疽

糖尿病の人は、足の傷には十分注意する必要があります。

糖尿病になると、足の火傷、水虫、靴ずれ、などによる傷や感染症が悪化して、「潰瘍（かいよう）」や「壊疽（えそ）」になりやすくなります。

壊疽とは、ちょっとした皮膚の傷がもとでそこに細菌が感染して、化膿（かのう）してしまい、さらに悪化していった皮膚から皮下組織までの細胞が死滅して腐ってしまう病気です。最後には骨まで腐ってしまいます。

この、糖尿病による壊疽を「糖尿病性壊疽（とうにようびょう せい えそ）」といいます。壊疽は、足の末端のところ（足の指、足の甲、足のうら、かかと、足の指の間、足の爪の周り）に濃い紫色や黒い部分ができて、それがどんどんと足全体に広がっていきます。治療をせずに放置すると、足の指や足を切断しなければならなくなります。また、敗血症（はいけっしょう）を起こして死亡することもあるので、壊疽はとても怖い病気なのです。ちなみに、敗血症とは、血液における細菌感染症で、体の病巣の部分（壊疽の部分）から血液の中にどんどん細菌が流れていってしまう状態のことで、細菌による感染症の中では一番重症な状態です。ただ、糖尿病性壊疽は、早く治療すれば治りやすい病気なので、足先や足の裏に濃い紫色や黒い部分などの異常が見られたら、すぐに治療を受けるようにしましょう。

風・物・詩

お花見

花見には団子がつきものといわれている。「花見団子」などともいい、庶民の花見の供として江戸時代から定番となっており、桜色（薄い赤色）・白色・緑色などの色で華やかな色彩を付ける。この3色の組み合わせが一般的で桜色は桜を表して春の息吹きを、白は雪で冬の名残りを、緑はヨモギで夏への予兆を表現している。尚、花見は梅でも行われ、奈良時代では梅が鑑賞されている。「花より団子」ということわざは、花見団子に由来し、花の観賞という審美的な行為より団子という実質を選ぶ行動を揶揄したものなのでしょう。

当院の診察時間のご案内

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	×	○	○
午後	×	×	×	×	×	×

午前診察 9:00～12:00 休診日：日曜・木曜・祭日

午後診察 ありません

ご連絡

先月と同様にて、いまだ山田先生は、療養中にて午後からの診察は受け付けておりません。悪しからずご了承ください。

